

## 令和5年7月～9月期地域産業経営動向調査の結果をとりまとめました

堺市と堺商工会議所では、堺市内の景気動向を把握するため、令和5年7月～9月期の地域産業経営動向調査を以下のとおり実施し、調査結果をとりまとめました。

1 調査対象 堺市内に所在する事業所 800社（回答企業 404社 回答率 50.5%）

2 調査期間 令和5年9月15日（金）～令和5年9月29日（金）

### 3 調査結果概要

今期（7月～9月期）の前年同期比を見ると、採算DI、雇用人員DIは横ばい、業況判断DI、資金繰りDIはやや悪化、売上高DIは悪化となった。

来期（10月～12月期）の予測については、採算DI、雇用人員DIは改善、業況判断DIはやや改善、売上高DI、資金繰りDIはやや悪化している。

数値の推移としては、前年同期比は全体的に前回調査より横ばい、もしくはやや悪化が多い。次期予測は改善、やや改善の見通しが多いものの、市内の景況は改善の度合いがやや弱まっているように見える。

加えて、業種別に指標を見てもやや悪化・悪化の項目が増加しており、未だに各種原材料・エネルギー価格の高騰が続いていることから、引き続き市内企業の動向については注視していく必要がある。

○業況判断	前年同期比の指標はやや悪化（ $\Delta 9.4 \Rightarrow \Delta 11.6$ ） 来期見通しの指標はやや改善（ $\Delta 11.6 \Rightarrow \Delta 8.9$ ）
○売上高	前年同期比の指標は悪化（ $\Delta 3.2 \Rightarrow \Delta 7.7$ ） 来期見通しの指標はやや悪化（ $\Delta 7.7 \Rightarrow \Delta 9.7$ ）
○採算	前年同期比の指標は横ばい（ $\Delta 9.9 \Rightarrow \Delta 10.4$ ） 来期見通しの指標は改善（ $\Delta 10.4 \Rightarrow \Delta 7.4$ ）
○資金繰り	前年同期比の指標はやや悪化（ $4.7 \Rightarrow 3.7$ ） 来期見通しの指標はやや悪化（ $3.7 \Rightarrow 2.5$ ）
○雇用人員	前年同期比の指標は横ばい（ $\Delta 3.0 \Rightarrow \Delta 3.2$ ） 来期見通しの指標は改善（ $\Delta 3.2 \Rightarrow 1.2$ ）

問い合わせ先

担当課：産業振興局 産業戦略部 産業企画課  
電話：072-228-7414  
ファックス：072-228-8816

令和5年7月～9月期  
地域産業経営動向調査  
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

# 調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数 DI 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所 800 社（建設業 200 社・製造業 200 社・卸売業 100 社・小売業 100 社・サービス業 200 社）
3. 調査期間 令和 5 年 9 月 15 日（金）～令和 5 年 9 月 29 日（金）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200 社	100 社	50.0%
製造業	200 社	100 社	50.0%
卸売業	100 社	51 社	51.0%
小売業	100 社	50 社	50.0%
サービス業	200 社	103 社	51.5%
全産業	800 社	404 社	50.5%

## 【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- DI 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

## 【各項目別の DI 値の意味について】

- 業況判断 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。  
⇒ 今期状況 … DI 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … DI 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。  
⇒ 今期状況 … DI 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

## 調査結果の概観

今期(7月～9月期)の前年同期比を見ると、採算DI、雇員人員DIは横ばい、業況判断DI、資金繰りDIはやや悪化、売上高DIは悪化となった。

来期(10月～12月期)の予測については、採算DI、雇員人員DIは改善、業況判断DIはやや改善、売上高DI、資金繰りDIはやや悪化している。

数値の推移としては、前年同期比は全体的に前回調査より横ばい、もしくはやや悪化が多い。次期予測は改善、やや改善の見通しが多いものの、市内の景況は改善の度合いがやや弱まっているように見える。

加えて、業種別に指標を見てもやや悪化・悪化の項目が増加しており、未だに各種原材料・エネルギー価格の高騰が続いていることから、引き続き市内企業の動向については注視していく必要がある。

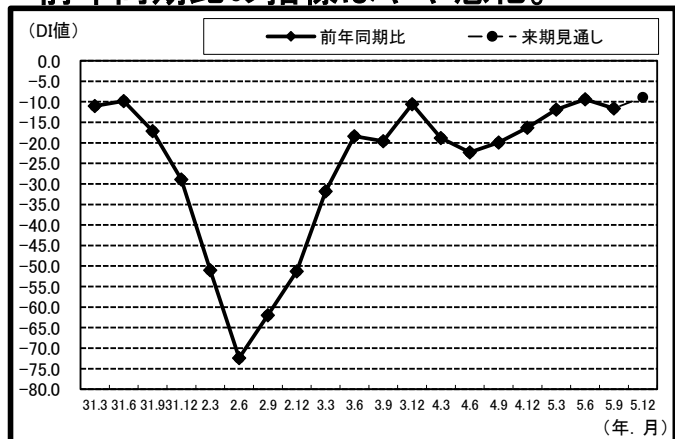
### 1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標はやや悪化。  
( $\Delta 9.4 \Rightarrow \Delta 11.6$ )

来期見通しの指標はやや改善と予測。  
( $\Delta 11.6 \Rightarrow \Delta 8.9$ )

・業種別に同期比の指標を見ると、サービス業はやや改善、建設業、小売業は横ばい、卸売業は悪化、製造業は3期連続で悪化。

#### ・前年同期比の指標はやや悪化。



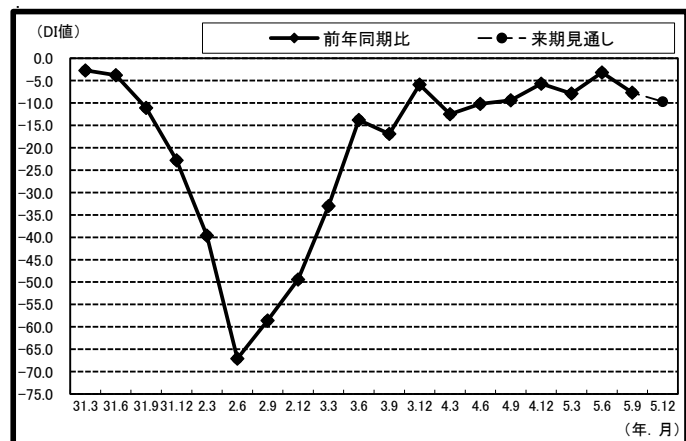
### 2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化。  
( $\Delta 3.2 \Rightarrow \Delta 7.7$ )

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
( $\Delta 7.7 \Rightarrow \Delta 9.7$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや改善、卸売業、小売業、サービス業は悪化、製造業は3期連続で悪化。

#### ・前年同期比の指標は悪化。



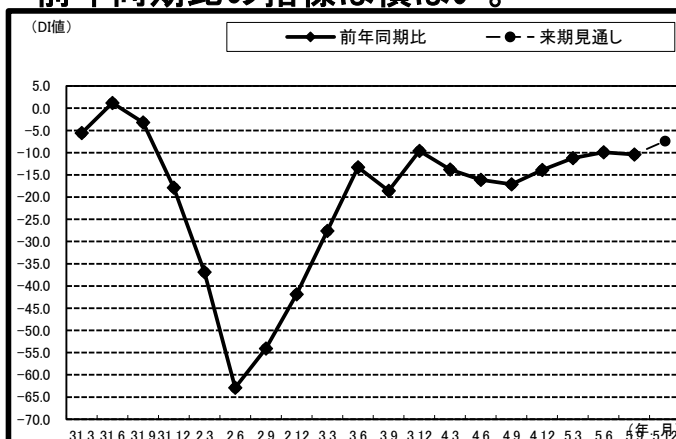
### 3. 採算の動向

・前年同期比の指標は横ばい。  
( $\Delta 9.9 \Rightarrow \Delta 10.4$ )

・来期見通しの指標は改善と予測。  
( $\Delta 10.4 \Rightarrow \Delta 7.4$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は2期連続で改善、製造業、小売業は改善、サービス業は横ばい、卸売業は悪化。

・前年同期比の指標は横ばい。



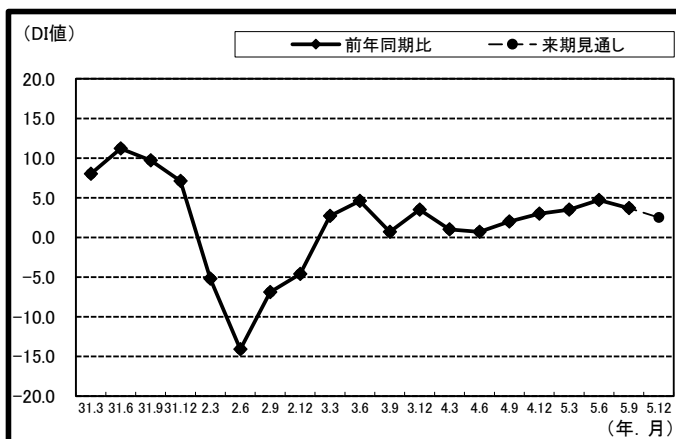
### 4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標はやや悪化。  
( $4.7 \Rightarrow 3.7$ )

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
( $3.7 \Rightarrow 2.5$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は2期連続で改善、製造業、卸売業はやや悪化、小売業、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標はやや悪化。



### 5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は横ばい。  
( $\Delta 3.0 \Rightarrow \Delta 3.2$ )

・来期見通しの指標は改善と予測。  
( $\Delta 3.2 \Rightarrow 1.2$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業は3期連続で改善、サービス業は改善、建設業、卸売業は悪化、小売業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は横ばい。

